

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成30年 7月31日
住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) 広島県福山市曙町1-13-15		氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 代表取締役社長 佐藤 守正
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	エフピコエコアクション50 (FPEA-50)	
適 用 範 囲	エフピコ及びエフピコグループ	
導 入 年 月 日	2006/4/1	
認 証 番 号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし	
基 本 方 針	【環境方針】 エフピコHP参照 http://www.fpco.jp/csr/environmenteffort.html	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	【エフピコグループの長期目標】 エフピコHP参照 https://www.fpco.jp/csr/environmenteffort/ecoaction50.html	
目標を達成するための取組の内容	【各部門2018年度までの目標】 ・生産量あたりのCO2排出量 (2007年度比15%削減) ・物流のCO2削減 (2015年度比総量を16.1%増に抑える) ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレー、エコAPETの販売拡大 etc	
目標を達成するための取組の進捗状況	長期目標について ・2003年度比 総排出量 32%増加 (2017年度実績) ・2003年度比 排出原単位 4%削減 (2017年度実績) ※ 総排出量については新規生産工場の増設及び製品出荷の増大、電力会社のCO2排出係数が目標設定当初より悪化した等の影響が出ている	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・生産量あたりのCO2排出量の削減 (2007年度比85%に抑える) ⇒2017年度実績：85% ・物流時のCO2削減 (2015年度比16.1%の増加に抑える) ⇒2017年度実績：9.8%増加 エコトレー (再生トレー) を汎用容器割合60%にする ⇒2017年度実績：58% おおむね良好に推移している。引き続きCO2目標達成を目指す。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場でチェック及び評価を実施。各事業所 (亀岡工場も同様) とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。企業合併による新規のグループ会社に対するマネジメントシステム導入についても随時実施している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。